



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
コード番号 6775 東証第 2 部
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡孝一
(TEL. 03 -5684 -2321)

平成 29 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 11 月 11 日に公表いたしました業績予想と実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値の差異

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4, 3 0 0	△ 9 5	△ 9 5	△ 1 2 0	△ 1. 3 7
実 績 数 値 (B)	4, 0 8 2	△ 3 0 1	△ 2 9 3	△ 3 1 7	△ 3. 6 3
増 減 額 (B-A)	△ 2 1 7	△ 2 0 6	△ 1 9 8	△ 1 9 7	△ 2. 2 6
増 減 率 (%)	△ 5. 1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4, 7 8 8	△ 2 0 3	△ 2 5 6	△ 3 2 0	△ 3. 7 0

差異の理由

売上高は、ドライブレコーダービジネスのデジタコ (デジタル式運行記録計) を平成 28 年 12 月に発売をいたしました。受注案件への販売は次期以降となりました。また、新規事業戦略として IPTV システムビジネスへの展開途上によりホテル向けの販売は想定を下回り売上高は予算未達となりました。

利益面は、取引先のリテールチェーン向けの LED ライト販売代金の回収遅延による全額を貸倒引当金として引当てたこと等により、貸倒引当金繰入額 1 億 60 百万円を販売費及び一般管理費に計上したことと、売上高の減少もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回発表予想を下回る結果となりました。

以上